



中根台中学校便り

12月号② No.11

令和3年12月24日発行

【校訓】共に生きる

生徒数 301名
家庭数 282家庭

校長室から

「2021年を振り返って」

中根台中学校長 湯原 徹

9月のオンライン授業後、10～12月の約3か月間、新型コロナウイルスの感染拡大防止で多くの制限のある中でしたが、生徒たちは龍光祭（体育祭）、輝龍祭（合唱コンクール）に取り組みました。2つの学校行事とも、感染リスクを軽減するために、練習時間を最小限とし、授業時間のみで練習を進めました。

龍光祭（体育祭代替）の応援パフォーマンスの練習は、3年生の応援団員が手本となるダンスをChrombookで撮影し、その映像を団員が互いに見て練習しながら覚える形式でした。例年とは異なり、体育の授業内での練習のため、学年の団員全部が集まる機会は数回程度でしたし、1・2年生が3年生と直接対面して教わる機会も限られたものでした。そのなかでも、各学年の応援団員を中心に互いが協力し、工夫しながら、雷光、大地、清風のどの団も完成度の高いすばらしいパフォーマンスを生徒たちは創り上げました。

輝龍祭（合唱コンクール）の各学級の合唱も、音楽の授業内での練習でした。例年は、学級担任が朝・昼休み・放課後とたくさんの時間を使って指導・助言をしています。今年度は、生徒たちと音楽科の教員とで合唱を創り上げました。指揮者・伴奏者や各パートリーダーを中心に、生徒自身が表現方法を考え、工夫することで、みごとな合唱を創り上げました。これらの学校行事を通し、生徒たちは、主体性・忍耐力・協調性・責任感・相互理解・他者尊重を身に付けるとともに、自他のよさや可能性を広げ、一回りも二回りも大きく成長したのではないかと思います。

また、9月のオンライン学習以降、生徒たちの情報活用能力が飛躍的に向上しています。Chrombookを教科や様々な活動で操作する中、「キーボード入力やWeb検索などの技能」、「Jamborad等を活用して多面的・多角的に捉え、自分の考えを深める協働的作業に関する技能」、「Meetやチャット等で他者を尊重し、責任を持って情報を発信する態度」などを向上させることができました。生徒会本部では、Googleフォームを活用したアンケートを行い、生徒会キャラクター「チュウ太郎」を決定しました。「Chrombook（一人一台端末）」を活用して行われる「新しい学びのスタイル」を更に充実させ、情報技術の発展が加速する未来の社会を切り開く生徒たちのコミュニケーション能力や情報活用能力をより一層高めていきたい思います。

龍ヶ崎市では、「English 4skills」「Libry」という個別最適化学習ができるオンラインデジタル教材を、市内6中学校が11月より利用し始めています。「Libry」は、理科と数学のデジタル教材です。各自が学習したい問題（単元）を選び、紙（ノート）と鉛筆を利用して学習するものです。問題を解いた後は、Libryのデジタル解説を見て自己採点し、結果を入力します。ここで記録した学習履歴を基に、Libryが「苦手そうな問題」「忘れそうな問題」を自動的に推奨してくれる仕組みです。

「English 4skills」は、英語の読む、聞く、話す、書くの4技能を高めるためのデジタル教材です。1万を超える問題から、生徒が自分のレベルにあった学習を進めることができます。また、レベルチェックテストにチャレンジすることで、4技能それぞれの習得レベルを判定してもらうことができ、得意・不得意を知ることができます。

冬期休業中に持ち帰ったChrombookから「English 4skills」「Libry」にログインすることができます。是非お子さんと一緒に体験していただき、親子で自主学習を試してみてください。

1月の行事

7日（金）委員会、月曜日短縮日課	13日（木）学力診断のためのテスト②（1、2年）
9日（日）茨城県私立高校推薦入試 成人式典（体育館使用）	3年定期テスト（第4回・最終）
10日（月・祝）成人の日	20日（木）～26日（水）三者面談（3年） ※特別日課
12日（水）学力診断のためのテスト①（1、2年）	25日（火）新入生保護者説明会



本年は、感染症対策をはじめとし、本校教育活動にご理解ご協力をいただき、誠にありがとうございました。

おかげさまで、コロナ禍におきましても、総合体育大会、新人戦、体育祭代替、合唱コンクール、修学旅行などの行事や、協働的な学習による授業を安全かつ充実して行うことができました。

皆様、ご多用の時節柄とは思いますが、くれぐれもお体にお気を付けてください。どうぞよいお年をお迎えください。